

## Protectosil® WS 602

建築物外壁面などに使用される多孔質な無機鉱物基材に対し、吸水防止性と撥水性を付与する官能性シリコサンオリゴマーを主成分としたエマルジョン

代表的物性値（規格ではありません）

特性	値	単位	試験法
外観	白色液体		-
有効成分	50	%	-
pH	6-8	-	-
引火点	90 <	°C	EN 22719
粘度(20°C)	Apprx. 20	mPa.s	DIN 53015
比重 (20°C)	Apprx. 1.017	g/cm <sup>3</sup>	DIN 51757

### 特徴

多孔質無機基材に対し、浸透して高い撥水性を付与します。

- ・基材への水分吸収を大幅に削減しますが、水蒸気透過性は損ないません。
- ・水溶性汚染物質の侵入を防ぎます。
- ・べたつきのあるシリコーン被膜を形成しません。
- ・水で希釈して使用できます。
- ・揮発性有機化合物 (VOC) をほとんど含みません
- ・無機材により下塗りされている基材、レンガ、および屋根瓦等に対して非常に有効です。
- ・無機材の細孔や毛細管の境界面に作用し、目に見えないミクロな撥水性化合物を界面に形成します。

### 使用方法

原液のまま使用せず、有効成分 10 %～25%（本剤 1 : 純水 1～本剤 1 : 純水 4）で使用してください。

希釈率は基材の吸収率や希望する浸透深さに依ります。希釈に純水（ミネラル分を除去した水）の使用をお薦めします。多孔質の基材に塗布する場合、正確な塗布量及び最適な塗布濃度を決める場合、または前処理が行われた形跡のある基材へ処理する場合、予め小面積での試験を行って決めてください。

- ・処理面はサンドブラストやウォーターブラスト等で洗浄し乾燥させて下さい。
- ・外気温や機材の温度は 5 °C～40 °C の範囲内で施工してください。
- ・強風や雨天時には施工しないで下さい。
- ・圧をかけずに基材の表面に流すように塗布してください。必要量を塗布するために、ウェット・オン・ウェット法で 2-3 回塗りして下さい。
- ・水平面に塗布する場合、本剤が吸収されるまで少なくとも 5 秒間は表面に溜まるようにして下さい。

- ・垂直面に塗布する場合、本剤がカーテン状に垂れるよう（15 – 20 cm ぐらい）はっきり見えるぐらい塗布して下さい。下部から上部の順に塗布して下さい。
- ・エアレスポンプシステムが適しています。
- ・噴霧器や刷毛では塗布しないで下さい。
- ・撥水効果は数分後から、基材と天候によっては数日かかる場合がありますので、継続して含浸させ、重複しないためにも途中で止めないで下さい。
- ・既に撥水処理されている基材に本剤を再塗布しても浸透しません。既処理の基材に塗布する場合は前もってテストして下さい。
- ・窓枠、窓敷居、樹脂接合や窓ガラス等の吸収しない基材は、塗布前にカバーしておいて下さい。
- ・誤って本剤がついた表面はアルコールや石鹼水ですぐに洗浄して下さい。
- ・数時間内であれば取れますぐが、長く時間が経過するとシリコーン樹脂膜を取り除くのが難しくなります。シリコーン皮膜の除去はエタノールやアルコールが向いています。
- ・植物にはかかるないようにして下さい。

#### 各国法規登録状況

Country	登録状況
EINECS/ELINCS (EU)	登録
AICS (オーストラリア)	未登録
DSL/NDSL (カナダ)	要確認
PICCS (フィリピン)	登録
TSCA (米国)	登録
IECSC (中国)	要確認
ENCS (日本)	登録
ECL (韓国)	登録

#### 安全性および取り扱い

製品安全データシート (SDS) の安全性および毒性データに加えて、適切な輸送、保存および使用に関する情報を精読してください。

#### 包装および保存

Protectosil® WS 602 は、25 L ペール缶、または 200 L ドラム缶、1,000L IBC コンテナで提供しています。3°Cから 40°Cでの保管を推奨します。（通常荷姿は変更する場合があります。予めご了承ください）本製品の保管期間は、未開封で 12 ヶ月です。

2024/08/01